



本城の風

串間市立本城小学校
校長 内倉 寛仁

3月に入り、寒かったり、暖かかったりしています。体調を崩さないようお気をつけください。
2月もいろいろな方々にご来校いただき、子どもたちに刺激を与えていただきました。

外部講師から学んだこと

2月7日は、NPO法人おむすび理事長の大畑伸幸先生に来ていただきました。大畑先生は、島根県で教員をされた後、NPOを立ち上げ、持続可能な地域づくりを推進し、全国各地で講演をされている方です。午後からの串間中学校立志式での講演の前に、本城小に立ち寄っていただき、3年生以上を対象に講話をしていただきました。生きていく上で、良い人間関係をつくることの大切さを説かれ、そのために対話が必要であると話されました。実際に子ども同士で対話をする場面を設定され、そのよさを子どもたちは感じ取っていたようです。



2月10日には、航空自衛隊高畑山分屯基地の古澤幹広司令に来ていただきました。話の内容は「あいさつ」の仕方についてでした。自衛隊の「あいさつ」であれば厳しい訓練が行われているのかと思えば、大切なのは「笑顔」ということを話されました。本城小も笑顔のあいさつを目標としています。子どもであろうと大人の社会であろうと相手が気持ちよくなるあいさつが大切な点は、同じなのだということを学びました。話のとおり、古澤司令は終始笑顔で対応していただきました。お二人とも、貴重なご講話、ありがとうございました。



名城大学女子駅伝部との交流会

2月26日は、いこいの里で合宿をしていた名城大学女子駅伝部との交流会が行われました。名城大学駅伝部は、昨年度まで全国7連覇している大学日本一のチームです。大学生は大変気さくで、温かく対応していただきました。監督の米田勝朗さんは、宮崎県高千穂町の出身だそうです。みんなで体をほぐす運動を行った後、大学生と小学生混合のチームを6つつくり、ミニ駅伝大会を行いました。運動場の外周を走り、大変盛り上がりました。天候にも恵まれ、暖かい日差しの中、楽しく交流できました。名城大学の皆さん、ありがとうございました。



校長の私が作成してきました「学校便り」は、今回が最後になります。うまく学校の様子をお伝えできたか分かりませんが、「間違い探し」は間違いなく一番時間と労力を使いました。3年間お読みいただきまして、ありがとうございました。4月からは新しい校長先生が執筆します。

